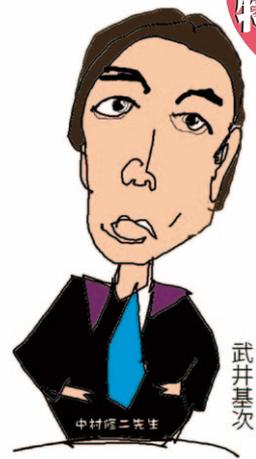


川柳アート

116

選者：川柳アート
八木健（月刊川柳総合誌）
「川柳マガジン」三元選者

特選



武井基次

个性的 そうかあの人アメリカ人

個人的 そうかあの人アメリカ人（中村修二さん）
ノーベル賞の中村さんは確かに个性的。実力があるから、はつきりものを言う。その自分流を買っているから媚びる必要がない。「反骨賞」をあげたいね。
武井 基次（松前町）



二大臣輝く前に隕石に

二大臣輝く前に隕石に

何かを輝かせるためには、「素材」の吟味が大切だということを教えてくれましたね。日本の政権は、失敗から学ぶことをしないから、列島が隕石だらけになるんじゃないかしらん。
金子 宣（東温市）

佳作



宮井 園江（松山市）

ジワジワとアベノネアゲが攻めてくる

ジワジワとアベノネアゲが攻めてくる
新語「アベノネアゲ」をいち早く取り入れましたね。アベノエンヤス、アベノカブダカ、アベノセイカツク、アベノムチャクチャ。君も新語をつくりなさい。アベノハライセ。いいね、いいね。
宮井 園江（松山市）



平野陽介

近場しか乗らぬ高級車を飾り

近場しか乗らぬ高級車を飾り
高級車を命をかけるか、ラーメンの味にけるか。高級車でラーメンを食べに行くことが当面の最重要課題なのか。あれれ、ラーメン食べるのにはチャリンコですか？ 宝の持ち腐れですね。
平野 陽介（東温市）



高岸サヨ子

不味いとは言えぬリポーターの名演技

不味いとは言えぬリポーターの名演技
お仕事ですから当然でしょ。しかし、不味いと思つたら表情に出ますからねえ。前日から何も食べないで空腹状態で本番に出しましょう。あるいは「美味しい」と言えない時は、「面白い味ですね」とか「初めて食べる味です」とか、プロなら日本語をうまく使いますよ。
高岸サヨ子（八幡浜市）



村田節子

言い訳が下手で政治家にはなれぬ

言い訳が下手で政治家にはなれぬ
言い訳が下手なわけではありません。言い訳ができないことをしたんです。あの議員さんは、言い訳の訓練しなかつたのですか。はい、領収証の偽造に手間取つたもので。
村田 節子（八幡浜市）



倒れるに
合わせ口開く
歯科の椅子
三並恵津子

倒れるに合わせ口開く歯科の椅子
体の条件反射ですが、上を向くと口が開きやすくなりますね。目薬を差すときも、口を開ける人がいますね。美容院で洗髪してもらう時も後ろに倒れますが、口は開けないようにね。
三並恵津子（今治市）



悔まれるあの日のベルト短縮を
小笠原満喜恵

悔まれるあの日のベルト短縮を
「天は小を兼ねる」という諺を知つたのはベルトを切つた後でした。洋装店では、なぜそのあたりを覚えてくれなかつたのでしょうか。三年後に長いのを買いに来ることを予測したので。
小笠原満喜恵（松山市）



さざんかの花

修二
（西条市・57歳）

今年は母の7回忌に当たる。母は庭いじりが好きだった。母亡き後、なかなかできなかった庭の手入れを数年前にやつとすることができた。庭には大きなさざんかの木がある。隣の人から「切らないように」と言われ、その周りの木や雑草を刈つていった。するとその年から花がきれいに咲き始めたのだ。今年も咲き始めた。その花を見ると母を思い出す。ずつとお墓参りをしている。先日は皆に回向してもらつた。これからは、庭の手入れも欠かさないから、許してくれな。

日々努力

芋の粉団子
（鬼北町・70歳）

体調が悪く、考えた末に運転免許証を返納した。お巡りさんは一つ事故が減ると思つたようで、とてもうれしそうだった。さて、買い物にはアッシー君の夫、必要ない物でもかごに入れてしまう。増ポイントや半額セールの際に買おうと、そつと陳列に戻しておくと、帰つてから自分が勝つた品物がないとご機嫌ナナメ。女は家計のため、1円でも安い品を買おうと努力の日々なのだ。

お便り募集

○川柳
テーマは自由。未発表のオリジナル作品に限ります。採用された作品には選者・八木健さんが切り絵やCGを使った「川柳アート」を作り、本誌に掲載の上、採用者にプレゼントします。
○ひろば
エッセーなどを募集しています。テーマは自由、200字以内。誌面の都合上、原稿を割愛、修正する場合があります。ご了承ください。

ください。採用の方には、1,000円分の図書カードをお送りします。
川柳とひろばのあて先は下記の通りです。住所、氏名、電話番号、性別、年齢をお書きください（ペンネームも可。必ず氏名を記入してください）。
※ご応募いただいた個人情報、適切に取り扱います。
〒790-8511 松山市大手町1丁目12-1
アクリート編集室 通信係
Eメール accrete@enp-sc.jp

優しい人
（松山市・61歳）
県道を車が引つ切りなしに通る。横断歩道がない所で横断するのは難しい。車が途切れるのを待っていると、軽トラックが徐行しながら、ピカピカとライトで合図する。「渡れ」と言っているようだ。「まあ、ありがとございます。横断歩道でもない所をわざわざ停止して渡らせてくださるなんて、なんて優しい方なのでしょう」と心の中でつぶやき、お辞儀をしながら渡つた。渡り切つて運転手の顔を見たら、夫だった。優しいはずだ。